

令和 5 年度町政懇談会 まちづくり事業説明会

1. 開催日時 令和 6 年 1 月 30 日（火）①13 時 30 分～15 時 ②19 時～20 時
2. 会 場 かわづっこひろば 多目的室
3. 参加人数 19 名
4. 出席者 町長、教育長、総務課長、企画調整課長、防災課長、水道温泉課長、産業振興課長、さくら幼稚園園長、教育委員会事務局長、建設課長
5. 次第
 - 1) 町長挨拶
 - 2) 令和 6 年度主要事業報告（担当課長説明）
 - 3) 意見交換

6. 意見交換

Q1	縦貫道の発生土については、捨て場が無くて困っているような話を聞きましたが、防災公園は受け入れ量が減り、縮小するということですか。変更にあたっての地区別説明会は予定されていますか。
A1	発生土の搬入先は候補地がいくつかあります。こちらの候補地については減少することとなります。また、地区への説明は、1 月 24 日に峰地区を対象に説明会を開催させていただいております。
Q2	防災公園の事業費の概算金額はわかりますか。
A2	公園自体の整備概算金額は、令和 7 年度以降の設計の中で出てくるものになりますので、現時点ではまだわからない状況です。造成部分については、縦貫道の発生土を国と協議しながら活用していくものになります。町の負担分については、現段階では具体的にははじかれていません。
Q3	同様の整備事業で、下田でもあったかと思います。町として全額負担するつもりなのか、国や県と折衝をして負担をし合うのか。発生土は河津の発生土を使用するのか、下田でも同様の工事があるなかで、時期や状況でちゃんと確保はできるのか、お聞かせください。
A3	事業費については町の事業と国でやってもらえるところをこれから協議していつて、費用負担を決めていきたいと思います。発生土についておっしゃられる通

	り、下田市でも計画があるようです。実際、発生土の利用については近隣市町でワーキンググループを作って検討をしていく予定です。土の出方について、ワーキンググループで話し合っているような状況です。また、スケジュールについては変更が生じる可能性もあります。その場合には随時町民の皆さんにお知らせしていくような対応をとらせてください。
Q4	桜まつりの消費税について、今後支払いを行う場合、実行委員会が払うのか、町が負担するのか、町の意見を聞きたいです。
A4	現時点では消費税の対象になるのか、ならないのかという点が結論が出ていません。今後結論が出た中で実行委員会で検討していくことになります。まず、対象になるのか、ならないのかというところが出ないと、判断が出来かねます。本日状況の共有として、実行委員会を開催する予定です。 あくまでも実行委員会の問題であると今の段階では考えています。
Q5	能登半島の地震を受けて、伊豆半島も他人事ではないと考えています。先日防災ガイドの差し替え版が来ましたが、災害想定区域に旧西小学校、旧東小学校が入っていました。災害時に河津町民全員が避難するということになった場合、受け入れ可能な施設はあるのでしょうか。災害時、何人くらいの人が受け入れ可能なのでしょうか。
A5	広域避難場所になっている学校施設は災害想定場所になっていることもあり、避難先の確保ということに関しては今後検討していく必要があるかと思います。ただ、先ほどお話しましたとおり、防災公園が整備されましたら、そこも避難先として機能することとなると思います。
Q6	孤立集落の調査の結果が町内4ヶ所となっていました。実際はもっとあると思いますがどうお考えでしょうか。
A6	県の方で行われた調査となっており、この結果については何とも言えない部分があります。
Q7	小学校の統合から1年が経ちました。新校舎の計画はどのようになっていますか。放課後児童クラブはいまだに体育館の2階で行われています。以前、校舎の敷地内に放課後児童クラブを作るべきという答申もありました。すぐに新校舎ができないのであれば、放課後児童クラブだけでも新しく設置してあげることはできないのでしょうか。
A7	今年度、文教施設整備検討委員会を立ち上げ、会合や、先進施設の視察なども行われ始めました。どのような形態の学校が良いのか、現在調査しているところです。令和6年度までかけてどのような形態が良いか、どうやって整備していくかを検討していく予定です。放課後児童クラブについては、教育委員会へ学校施設の貸し出しなどを行い、対応を行っている状況です。また、答申を受けまして新しい校舎の整備の際には、敷地内に放課後児童クラブも設置したいと考えております。

	予算の中で把握している内容を報告します。一時期はかなりの人数が在籍していましたが、ここ最近については人数も落ち着いてきている状況です。現在は1ヶ所の運営で賄っている状況です。夏休み期間中は学校と協議した中で、教室を利用して対応しています。ただ、これが最善の策であるとは考えておりませんので、今後も改善できる点は改善していきたいと思っています。
Q8	予算審議前ということで、細かい予算の話ができないというのは理解しますが、予算計上案は見せてもらいたいです。主要事業だけでなく、継続事業に関わる予算も見えないと、ここに来た意味がないかと思います。どのようなことが先にあるのかわかる資料を用意してほしいです。
Q9	町民の関心があまりにもないのではないのでしょうか。このような機会をもっと使ってほしいです。今後もこういった機会を続けてほしいです。
A9	政治姿勢として、町民の声を聴くことを大切にしています。そのためには事業に関する説明が大事だと思っています。町民にどうやって伝えていくかは、農協テレビで放送しています。しかし今後工夫していき、配信なども考えていきたいと思っています。
Q10	縦貫道の進捗状況がわかりましたら教えてください。
A10	現在も要望活動を続けています。天城峠の5.20kmが実行段階に移ったものの、河津側の方がまだ実行段階に移っていないということが、河津において大きな問題かと思っています。発生土の問題もあります。受け入れ先がまだ決まらないというところが予算化においても課題となっていますので、賀茂地域全体で考えていかなければいけないかと思っています。また、逆川ー七滝間の工事が完了したことで、予算が以前より減ってしまっている状況です。もう少し、要望活動を頑張らなければいけないと考えています。